

日本LCA学会研究発表会学生優秀口頭発表審査要項

日本LCA学会研究発表会実行委員会

1. **審査員**：各審査対象発表者につき、座長、実行委員、理事、および正会員の中から、本委員会が選定した2名を審査員とする。
2. **審査対象**：下記の条件を満たす学生会員である。
 - ・発表時に学生会員である
 - ・演題登録時の発表者と同じである（要旨集の氏名に「○」が付記）
 - ・演題登録期限までに演題登録が完了している
 - ・演題登録時に表彰審査へエントリーしている
 - ・要旨投稿期限までに要旨投稿が完了している

座長は、各セッションの開始前に講演者が本人であることを確認すること。座長が審査員でない場合も確認を行い、演題登録時の発表者と実際の講演者が異なる場合は実行委員会に伝える。

3. **採点**：「分かりやすさ」「スライドの見やすさ・理解しやすさ」「発表時間」「質疑への対応」「論理性」の5項目について、「非常に優れている＝5」「優れている＝4」「普通＝3」「劣っている＝2」「非常に劣っている＝1」の5段階で評価し、審査シートの当該欄の点数を丸で囲む。各項目の採点にあたっては、以下の点に留意する。

①「分かりやすさ」

- ・聴講者（あるいは審査員）にとって分かりやすい発表であるか
- ・発表用原稿を棒読みしていないか
- ・内容を十分理解した上での発表になっているか
- ・声の大きさ、聞き取りやすさは問題ないか

②「スライドの見やすさ・理解しやすさ」

- ・スライドは、見やすく、かつ簡潔にまとめられているか
- ・スライドは、聴衆を引きつける工夫がされているか

③「発表時間」

- ・序論、本論、結論の時間配分は適切か
- ・所定の時間を守っているか（発表全体の印象から良識的に判断される）

④「質疑への対応」

- ・質疑に対する応答が適切であるか
- ・発表者が応答すべきところを、共同研究者に助けてもらっていないか
（ただし有意義な議論のための共同研究者の発言はこの限りではない）

⑤「論理性」

- ・発表が論理的であるか（筋が通っているか、論理の飛躍がないか）
- ・説明の多寡（一般常識の冗長な説明／専門用語の説明不足）がないか

4. **総合評価・講評**：総合評価欄には採点項目ごとの点数の合計値を記入する。講評欄に印象を記載する。講評欄の内容は、表彰対象者選定の一助とするとともに、表彰時において受賞発表の講評の参考とする。
5. **審査用紙の提出**：審査対象の採点結果は、なるべく発表時間中に記入し、審査員が受け持つ全ての審査対象の発表が終わり次第、直ちに受付に提出する。
6. **表彰対象者**：2名の審査員による総合評価点を集計した結果、審査対象者全員の中で上位2件の発表者を優秀口頭発表表彰対象者とする。投票同数により表彰対象者が3名以上となった場合は、実行委員会による審議で決定することとする。